

高等学校 令和6年度（1学年用） 教科

国語

科目 言語文化

教科：国語

科目：言語文化

単位数：2 単位

対象学年組：第1学年 1組～5組

教科担当者：（1・2・3・4組：福田悠仁/上田明海/阿部広美）（5組：福田悠仁/阿部広美）

使用教科書：高等学校標準言語文化（第一学習社） ビジュアルカラー国語便覧（大修館書店） 標準言語文化学習課題集（第一学習社）

教科 国語 の目標：言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語での確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成する。

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 言語文化 の目標：言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語での確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成する。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			話・聞	書	読					
1 学 期	古典の文章に慣れるとともに、現代に通じる話のおもしろさや人間描写の巧みさを知る。 【知識及び技能】 ・文語のきまりを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する方法を学ぶ。 【学びに向かう力、人間性等】 ・積極的に説話を読み味わい、時間の経過による言葉の意味の変化を理解する。	・指導事項 本文の読解 文法の理解 ・教材 「古文を読むために1」 「児のそら寝」			○	【知識・技能】 ・文語のきまりを理解している。 【思考力・判断力・表現力】 ・作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する方法を学んでいる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・積極的に説話を読み味わい、時間の経過による言葉の意味の変化を理解しようとしている。	○	○	○	5
	定期考查					○	○		1	
	自由に記述された随筆を読んで、当時の人々の生活感覚や興味の対象を知り、ものの見方・考え方を理解する。 【知識及び技能】 ・作品の歴史的・文化的背景を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文章の種類をふまえて、内容や展開を的確に捉える方法を学ぶ。 【学びに向かう力、人間性等】 ・作品に表れたものの見方・考え方や美意識を積極的に理解し、学習課題に沿って自分の考えを伝え合う。	・指導事項 本文の読解 文法の理解 ・教材 「枕草子」 「古文を読むために2」 「古文を読むために3」			○	【知識・技能】 ・作品の歴史的・文化的背景を理解している。 【思考力・判断力・表現力】 ・文章の種類をふまえて、内容や展開を的確に捉える方法を学んでいる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・作品に表れたものの見方・考え方や美意識を積極的に理解し、学習課題に沿って自分の考えを伝え合おうとしている。	○	○	○	5
	わが国の伝統行事に関する題材を選んで、随筆に書き表す方法を理解する。 【知識及び技能】 ・随筆の特質について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自分の体験や思いが効果的に伝わるような、文章の種類、構成、展開や文体、描写、語句などの表現を学ぶ。 【学びに向かう力、人間性等】 ・「枕草子」や「祭りの笛」を振り返り、構成や表現に工夫を凝らして随筆で表現する。	・指導事項 随筆での表現方法 ・教材 「「祭り」をテーマに随筆を書く」 「祭りの笛」 ・一人1台端末の活用			○	【知識・技能】 ・随筆の特質について理解している。 【思考力・判断力・表現力】 ・自分の体験や思いが効果的に伝わるような、文章の種類、構成、展開や文体、描写、語句などの表現を学んでいる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・「枕草子」や「祭りの笛」を振り返り、構成や表現に工夫を凝らして随筆で表現しようとしている。	○	○	○	4
	定期考查						○	○		1
2 学 期	話の中で和歌が果たしている役割を押さえ、歌物語の特徴と読み解き方を理解する。 【知識及び技能】 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文章の種類をふまえて、内容や展開を的確に捉える方法を理解する。 【学びに向かう力・人間性等】 ・歌物語に積極的に親しみ、和歌の果たす意味を理解する。	・指導事項 本文の読解 文法の理解 ・教材 「伊勢物語」 「古文を読むために4」			○	【知識・技能】 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにしている。 【思考力・判断力・表現力】 ・文章の種類をふまえて、内容や展開を的確に捉える方法を理解している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・歌物語に積極的に親しみ、和歌の果たす意味を理解しようとしている。	○	○	○	10
	折句を用いて、感じたことを短歌で表す方法を理解する。 【知識及び技能】 ・修辞技法の特質について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文章の種類をふまえて、内容や展開を的確に捉える方法を理解する。 【学びに向かう力・人間性等】 ・歌物語に積極的に親しみ、和歌の果たす意味を理解する。	・指導事項 折句の機能 短歌について ・教材 「折句を用いて短歌を作る」 「清水へ」			○	【知識・技能】 ・修辞技法の特質について理解している。 【思考力・判断力・表現力】 ・文章の種類をふまえて、内容や展開を的確に捉える方法を理解しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・歌物語に積極的に親しみ、和歌の果たす意味を理解しようとしている。	○	○	○	3
	定期考查						○	○		1

[illegible]